

報道関係各位

2026 年 1 月 23 日  
株式会社日本アクア  
(東証プライム 1429)

## 現場発泡ウレタン断熱材で「アクアフォームシリーズ」が 国内初の EPD（環境製品宣言）を取得

現場発泡ウレタン断熱材シェア No.1 の株式会社日本アクア（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 文隆）は、主力製品である「アクアフォーム」をはじめとする以下製品において、環境認証ラベル「EPD\*（環境製品宣言）」を取得いたしましたので、お知らせいたします。なお、現場発泡ウレタン断熱材の EPD 取得は、国内で初めてとなります。

- アクアフォーム 100 倍発泡  
（アクアフォーム：国内シェア No.1 の現場発泡型硬質ウレタンフォーム断熱材）
- アクアフォーム 120 倍発泡  
（アクアフォーム LITE：植物由来原料を配合した環境配慮型のアクアフォーム）
- アクアフォーム 30 倍発泡シリーズ  
（アクアフォーム NEO：従来品より薄い厚みで同等の断熱性能を確保した上位品）  
（アクアフォーム NEO+TP：断熱性と施工性を維持しつつ、高い防虫性能を発揮）
- アクアブロー：アクアフォームの残材をリサイクルした環境配慮型の天井用断熱材
- アクアモエン NEO：現場火災のリスクを低減する不燃性と断熱性を備えた断熱材



\*EPD（Environmental Product Declaration）とは、製品のライフサイクルにおける CO<sub>2</sub>排出量や廃棄物量等の環境負荷を定量的に算定し、開示するための国際的な認証ラベルです。ISO 14025 に準拠する「タイプⅢ環境ラベル」であり、第三者機関によって検証・認証されるため、消費者や使用者が環境配慮型製品を選ぶ際の客観的な指標となります。

EPD の考え方は、1990 年代後半頃から欧州を中心に発展し、その後、北米・アジアなどへと広がり、各地域で独自の EPD プログラムや運営機関が設立されてきました。日本発の EPD プログラムとしては、「エコリーフ環境ラベルプログラム（後の SuMPO EPD）」が、唯一の存在であり、世界的にも 2 番目に長い歴史を有しています。本製品についても、SuMPO EPD において第三者検証を実施し、EPD を取得しました。なお、本 EPD は SuMPO EPD 公式ページ (<https://ecoleaf-label.jp/>) にてご確認ください。

現在、日本における CO<sub>2</sub>排出量の約 40%を建築物分野が占めているとされる中で、国土交通省は 2028 年度を目途に、建築物の計画から施工、運用、解体までのライフサイクル全体において排出される CO<sub>2</sub>を含む環境負荷を算定・評価する「建築物 LCA（Life Cycle Assessment）」の実施を促す制度の導入を目指しています。

そのような状況下、「人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献」を経営理念に掲げ、創業以来「断熱」および「省エネルギー化」に軸足を置き、事業を展開してきた当社は、業界に先駆け、現場発泡ウレタン断熱材「アクアフォーム」を含む 6 品種において EPD を取得しました。これにより、当該製品を用いた建築物の LCA 算定が可能になります。

今後も、サプライチェーン全体にわたる持続可能性を重視し、環境への影響を最小限に抑えるための取り組みを進めてまいります。

以上

#### 【会社概要】

会社名：株式会社日本アクア

上場市場：東京証券取引所 プライム市場（証券コード：1429）

代表者：代表取締役社長 中村 文隆

所在地：東京都港区港南 2 丁目 16-2 太陽生命品川ビル 20 階

設立：2004 年 11 月

事業内容：建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工

住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売

URL：<https://www.n-aqua.jp>

サステナビリティサイト：<https://www.n-aqua.jp/sustainability/>

---

#### 【お問い合わせ先】

株式会社日本アクア 経営企画部 小室 昌彦

電話番号：03-5463-1117

Eメール：[m.komuro@n-aqua.com](mailto:m.komuro@n-aqua.com)